

2010年度 早稲田大学 国際教養学部

日本史 解答例

I 古代の史資料 <やや難>

問1イ 問2五経博士 問3オ 問4エ 問5オ
問6ウ 問7ウ 問8エ 問9ア 問10ウ

問5・10が難問。問8はやや難しいが、推測で解けた人もいるだろう。こうした問題で正解してしまえるようになるとすごい。ちなみに問1や問9を間違えた人は、早稲田大学の出題傾向をもっと精密に知るべき。

II 中世～近世の蝦夷地 <標準>

問1イ 問2オ 問3エ 問4ウ 問5ア
問6商場知行制 問7シャクシャイン 問8ウ 問9オ 問10イ

問1・5が難問。ただし、問5は13年前の別学部の問題に類似するものが出題されていた。北海道史対策は早稲田では必須。

III 昭和戦前期の政治・外交 <易>

問1イ・オ 問2内大臣 問3エ 問4盧溝橋 問5ア・ウ
問6ウ 問7ア・オ 問8日米通商航海(条約) 問9ウ 問10エ

各史料にごていねいに年月日がついているため、苦もなく解ける問題になっている。例年の難しさはここにはない。

IV 戦後の日本経済 <標準>

問1オ 問2ア 問3ア 問4ア 問5オ 問6ウ・オ
問7産業別 問8ウ・オ 問9公正取引委員会 問10ア

本学部では英文史料問題が出るのが常だが、今年は例年とは若干スタイルが変わって出題された。難問は問3・10。とりわけ問10は、この史料の原典にあたらないと正解するのは難しい。

講評

なんといっても英文の史料問題が特殊な本学部だが、とりたてて特別な対策を取る必要はない。他の学部同様に普通に史料問題対策をしておこう。後は本学部を受験するほどの英語力があれば対処できる。どうしようもない難問は正解する必要はない。